

## 令和4年 第4回府中市環境保全活動センター検討調整会 議事録

■日 時:令和4年7月21日(木)午後1時30分～3時30分

■場 所:本庁北庁舎3階 第3会議室

■出 席:(敬称略)

(委 員)(8名)室 英治、塚原 仁、増山 弘子、表 伸一郎、小西 信生、成瀬 こずえ、  
石川 伊智郎、森嶋 正行

(事務局)(3名)田口 敦、谷口 謙太、塚原 二郎

■欠 席:(敬称略)

(委 員)(2名)山田 義夫、吉武 考三郎、

■議 事

### 1 報告

① 令和4年度第3回検討調整会議事録 → 了承

② なし

### 2 議事

府中市環境保全活動センターの運営等に関わる検討

本日は2名の委員から提出された資料と事務局から提出された資料の3つを使いま  
す。まず、それぞれの資料について説明をお願いします。 ※各資料の説明  
意見はありますか。

◇ ・活動センターを委員案ように課の下におくのではなく外に出したほうが良い。

⇒活動センターは課の中にある。

・これまで組織として別なものとしてあるべき姿を考えてきたが、課の中にあるということ  
は検討調整会の意味はあるのか。

⇒進めていく中で課を超えて広げる必要があり、その場合、独立、自立なども考慮する  
必要を考えている。

・他にたとえられる法人的なものがあるのか。また、サンプルとなる組織があるのか。

⇒課の中にあり規則もある。センター長はいない。

◇課の中にあるのだから市職員のセンター長をおくべきである。

⇒事務局では人事の話となるセンター長の話は何とも言えない。

◇代表について日野市のカワセミハウスでは、民間人(大学名誉教授)を館長としてい  
る。代表の業務内容によるのではないか。PDCAサイクルに則って活動センターが運  
営されていない。そのため問題が多くなっている。無いならこれから作るしかない。

- ◇課の中に活動センター組織・長を作れるのか。キチッと作り責任者を明確にできるのか。
- ◇市が作ると市民がついてこない。これは市民協働ではない。本来は検討調整会の長がセンター長になるのでは。
- ◇運営委員会は無いのか。
- ◇最初は本会が運営委員会としてあったが、途中で市の方でカンバンを変えた。
- ◇運営委員会の変更の経緯。活動センターの位置付けが問題。これにより活動センターでどんなことができるのか。どうするのかを考えたい。
- ⇒もともと活動センターを作るための委員会があり、その後庁舎の中に一部屋を用意し活動センターを立ち上げた。そこで、前段の委員も含め運営委員会としておかれた。しかし、市の規則では運営委員会は市長の付属機関としておかれるもので、施設ではない活動センターには運営委員会がおけないことがわかり、平成29年に検討調整会に変更された。これは、市長に提言・助言を行う委員会となった。
- ◇各市民団体の代表が委員となり交流する場ではないのか。
- ◇違う。
- ◇ただ、活動センターの機能の中に市民・団体の交流支援がある。
- ◇そのような交流の促進をどこがやっているのか。
- ⇒今は市民協働推進課、市民活動センタープラッツなどが行っている。
- ◇活動センターは環境団体の支援・交流を行っている場はないのか。
- ◇そうではない。
- ◇10年間、交流はなかったのか。
- ◇当初、活動センターが「環境まつり」を主導していた時、環境に関係した市民・団体を集めて「まつり」をやっていた。また、事業者も呼びかけていた。その後、ゴミ減量推進課が加わってから「まつり」の運営組織が実行委員会形式に変更され、活動センターがまとめる必要がなくなった。それからは「まつり」に参加する形で交流の中心にいなくなった。5年くらいはやっていたけど、その後はなくなった。
- ◇まとめるイベントとしては「打ち水」もあった。いろいろな団体・事業者から支援を受けて大々的にやっていたが、今では活動センターのみで小さくなった。
- ◇前には、風呂敷デザインコンテストをやって風呂敷を作ったりもしていた。
- ◇「環境まつり」に合わせていろいろやっていたそうだが、そういうものが無くなったときに

みんなでどのようにやるのか、活動センターが新たにまとめるしかないのでは。

◇何かをテーマにして集まることがなくなった。これまでのように一団体数分の持ち時間で発表をしてもらい、そのような場を用意する。そういう場があるから参加する団体などがあり、集まってきた。やはり、発表できる場を作ることが重要ではないか。

◇・運動体的な活動が重要で、場所の問題ではない。実際に団体をつなぐ運営体・方法を考えるべきである。

・三つの部会の活動がみえない。これらが一つの運動体としてまとめているところがない、ということは活動センターがないと同じ。市として活動センターはどこに位置づけているのか。

・説明にあったステップ3は早急にやるべき。

・今やっていることをしっかり足元を固め、まずは交流会的なことをやる。

・市のホームページから活動センターのホームページを探すのが大変。

・環境に関係する他の課の人にも参加してもらおう。

・交流・促進を進めている場所はどこかという問いについて明確な回答がない。この交流は活動センターの中心的な役割にも関わらず、それが無いということは活動センターがないと同じ意味合いである。

◇・市民からみて活動センターが何をしているのか。聞かれてもこれまでは、これに答えられない。パンフレットにはいろいろと書いてあるが、家でも家族から何をやっているところかわからないと言われている。活動センター独自事業をやっても市民にはわからず、これでは活動センターの存在意義が無くなる。

・これまで、いくつかの学校で環境学習の手伝いをした。「環境まつり」も手伝った。元に戻って何をやるのかしっかりまとめてわかりやすく説明できるようにしなければ。市民にアピールが必要。

◇ステップ1～3のスケジュールリングはどうなっているのか。

⇒特に決めているわけでもないが早期に進めたい。リモート仕様の予算なども来年に向けて作り始めている。いろいろな組織との調整が必要だが、できる限り早く進めたい。

◇もし可能ならこの会議の位置付けを変えてほしい。例えば環境連絡調整会とか、具体的な話ができるような会議の位置付けに改めてはどうか。このことによって前に進めることができる可能性がある。

◇活動センターの目的がわからなくなっている。最初は手広く専門家も入れてやり始め

たが、だんだんと人が少なくなりできることが減った。だから、やるべきことを絞るべきである。当初の課題、拠点が作れないなら、当初の考えを改め、再度、新たな活動センターの目的を決めた方がよい。現状の規模からは絞った形で進めるしかないし、バーチャル的に進めていくのもよい。

◇活動センターの目的と各部会の目的がイコールではない。部会の目的が分からなくなっている。これからの目的を決めて部会の再編をする必要があるのではないかと。また、組織図がないことも影響している。目的に合わせて部会を見直しをするなどの組織改正が必要では。

◇予算、人、モノが活動に必要である。どのようにどのくらいの予算が使えるのかわからない。

◇予算をつけるのは難しいと思うが、これまでの話はすぐにできるのでは。ネットワークを作り交流とかできないか。金銭的な支援できないけれどアピールできる場はありますとか。

◇参加した人たちが市のホームページに載る場を作るだけでも価値があるのでは。このようなバーチャルのホームページを作る予算は良いことなので申請してみる価値はある。

◇広報部会は常時動いているわけではなく、水と緑のネットワーク部会も現在休会となっている。今は環境学習部会しか動いていない。しかし、かんきょう塾は毎年、同じ人しか来ないなどあまり成果が上がっていない。できれば、どこかできそうなところの一つに集中して一点突破的にやっていくしかない。

◇広報も名前を変え、広報と合わせ啓発活動していかなければ広がらない。できれば次回、検討するならどういう部会を作るのか。今日は何を中心として活動をするのか集約し、次回は部会を決めるようにして一つひとつ年内にはある程度の結果を出したい。

◇環境学習部会は可能性があるもので、いろいろな先生を呼んでやったらどうか。先生を呼ぶことが難しければ、ズームなどのリモートで講座をやるとか、いろいろなアイデアを出していけばよい。

◇かんきょう市民の会では環境学習をやっているが、環境に関心のある市民の方が参加しているので、新しく参加してもらえそうな人たちはいる。もし学校での環境学習がまとまってできれば、小中学校で環境学習をやっているという具体的なことが言えるとよい。市民にもわかりやすくてついてくる可能性がある。こういう具体的なことが活動センタ

一でできると良い。

◇小学校の計画は早いうちががっちりできているので、そこに入り込むのはかなり苦労がある。あまり背負い込むのではなく、啓発と交流といった、いろんな活動をつなげてネットワーク化することに絞って、その中で「環境まつり」もバーチャルとリモートでセンターがやっていくというのが良い。

◇事務局の資料のリストは良いと思う。しかし、環境基本方針の項目をこのメンバーでチェックしていくというのは荷が重い。審議会でもしないことをここでやるのは無理。ただ、①～⑥の項目をそれぞれ具体的にイメージできるようにしないと市民に支持を得られない。これらに答えられるようにしないといけない。表現のレベルを落として何をどうするか具体的に示すことが必要。できることからやるしかない。

◇私たちの活動として具体的に何をやるのかに改める。

⇒より具体的にどこに集中するのかを明確にする。事務局で本日の話を整理します。

・提案ですが目的・内容を絞ってみる。意見をまとめ、例などもだす。これに対して意見をもらいながら、作り上げるような形でどうか。提案という形で出したい。

◇③、⑤、⑥は消しても良いのでは。

◇消すのではなく、この会議では見えないようにする。

⇒絞った形で出す。

◇活動センターにある図書資料についてはどうなるのか。

⇒その件は問題となっているが、現在、本を置く場所は決まっていない。

◇活動センターホームページの管理はどうなっているのか。

⇒サポーターの方にお手伝いいただいている。とりあえず新しいイベントの案内などは出している。

◇スケジュールが更新されていない。

⇒確認をする。

では、次回は事務局で整理した資料を基に検討します。

## ■次回開催予定日

令和4年度 第5回府中市環境保全活動センター検討調整会  
(通算133回)

日 時: 令和4年8月26日(金)午後1時30分～

場 所: 東庁舎8階 会議室A